

徳地森の子くらぶ① ～ポン太の森でディスカバリーキャンプ～

令和元年6月8日(土)～9日(日)

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】47名(男子22名,女子25名),法人ボランティア15名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:10 始まりの会
- 11:30 みんなであそぼう!(アイスブレイク)
- 12:30 お昼タイム
- 13:00 自然の中で遊ぼう!(ネイチャービンゴ)
- 18:30 キャンドルサービス

2日目

- 9:30 アウトドアクッキング(ポトフ)
- 14:00 さよならの会
- 14:30 バス乗車/終了

「始まりの会」,

「みんなで遊ぼう!(アイスブレイク)」



「自然の中で遊ぼう!」, 「キャンドルサービス」



各グループ、自然の中で協力して、ミッションクリアを目指した。山道では、声を掛け合い、励まし合いながら活動を楽しむことができた。
キャンドルサービスでは、真っ暗な部屋に灯されたキャンドルの灯りを眺めながら、1日の活動のふり返りを行った。

「アウトドアクッキング(ポトフ)」



各グループで協力して、まき割り係や食器係、調理係に分かれて、アウトドアクッキングを行った。ポトフの気になる味は、「満点」で、みんな笑顔になった。最後のあとかたづけまで、みんなで協力して、頑張ることができた。



参加者全員で記念写真

【参加者の声】

「自然で色々なことを学んだからよかった」、「山の頂上に行きたい」、「アウトドアクッキングでクッキーを作りたい」、「もっと友達をつくりたい」などの感想が寄せられた。

【成果】

今回の森の子くらぶから、昨年度の本事業の反省を踏まえて、目標を具体的にすることとした。「自分の使ったものは自分で片付ける」の目標においては、着替えの整頓や寝具のあとかたづけを頑張っている様子が印象的だった。また、本事業を通して、できること(経験)が増え、初めてのことに挑戦する様子が見えた。

【課題】

日の入りの時間を考慮せずに、「キャンドルサービス」のプログラムを設定したことで、外の光が明るく、プログラムを入替えて対応した。今後、プログラム企画・調整する際には、日の出や日の入の時間等に配慮する。